

プログラム 1日目 6月29日(金) A会場(7F 小田島組☆ほ～る)

8:25～8:30

開会式

会長：小笠原邦昭（岩手医科大学 脳神経外科学講座）

8:30～9:50

シンポジウム 1：アルツハイマー病と血管性認知症とのクロストーク

超高齢化社会を迎えている本邦においては、認知症、特にアルツハイマー病が問題となってきました。一方、アルツハイマー病と血管性認知症の臨床的基礎的研究が進むにつれて、両者の成り立ちは重なるところがあり、両者は完全に独立したclinical entityではない可能性が指摘されるようになってきました。そこで、この領域の最先端の臨床的基礎的研究を行っているエキスパートの先生にご講演いただく機会を設けました。

座長：山口 修平（島根大学医学部 内科学講座 内科学第三）
富本 秀和（三重大学大学院医学系研究科 神経病態内科学）

- S1-1 アルツハイマー病における血管因子の重要性
国立循環器病研究センター 脳神経内科 猪原 匡史
- S1-2 アルツハイマー型認知症における虚血性脳画像所見の意味すること
群馬大学大学院医学系研究科 脳神経内科学 池田 佳生
- S1-3 混合型認知症の臨床と病態
東京医科大学医学部 高齢総合医学分野 羽生 春夫
- S1-4 脳ドックにおける白質内血管周囲腔拡大の臨床的意義
洛和ヴィライリオス／音羽病院 正常圧水頭症センター 石川 正恒
- 共催：第一三共株式会社

9:50～11:30

シンポジウム 2：無症候性病変に対する外科治療と認知機能

脳外科医は無症候性病変に対し、日常臨床で手術を行っています。術後の評価として、「見た目の麻痺がなく、失語症がなければGOOD RECOVERY」あるいは「major adverse eventがなければOK」となっています。本学会も含め近年は「認知症」をどう検出し、どう対処するかが問題となっています。すなわち、神経学的脱落症状だけでなく、認知機能を含めた手術評価が必要と考えます。そこで、本シンポジウムでは、脳外科医が無症候性病変に対して行っている治療が認知機能にどう影響を与えるのかの議論を行いたいと思います。

座長：鈴木 倫保（山口大学医学部 脳神経外科）
木村 和美（日本医科大学 神経・脳血管内科）

- S2-1 未破裂脳動脈瘤に対する開頭クリッピング術の認知機能に与える影響
NTT 東日本関東病院 脳神経外科 井上 智弘
- S2-2 未破裂脳動脈瘤に対するコイル塞栓術の認知機能に与える影響
北海道大学医学研究院医学研究科 脳神経外科 長内 俊也
- S2-3 無症候性頸部内頸動脈狭窄症に対する内膜剥離術後認知機能変化
岩手医科大学医学部 脳神経外科 小笠原邦昭
- S2-4 無症候性頸部頸動脈狭窄症に対するステント術の認知機能に与える影響
富山大学医学部 脳神経外科 秋岡 直樹
- S2-5 テント上髄膜腫術前後の cognitive status と neural viability
山口大学大学院医学系研究科 脳神経外科学分野 五島 久陽

11:30~12:30 特別講演 1

座長：宮本 享（京都大学大学院医学研究科医学専攻 脳病態生理学講座脳神経外科）

SL1 個人情報保護法改正後の医療・医学研究における問題点

東京大学大学院 法学政治学研究科 米村 滋人

12:40~13:40 ランチョンセミナー 1

【脳神経外科領域講習対象】

座長：篠原 幸人（国家公務員共済組合連合会 立川病院）

LS1 確実な脳卒中再発予防は適切な血圧管理から

国立循環器病研究センター 豊田 一則

共催：武田薬品工業株式会社

13:40~14:10 会員報告・施設認定委員会報告

14:10~14:50 特別講演 2

座長：小林 祥泰（島根大学医学部）

SL2 日本脳ドック学会の歴史と将来展望

一般社団法人日本脳ドック学会 理事長 片山 泰朗

14:50~15:35 シンポジウム 3：無症候性頸部内頸動脈狭窄への対応

無症候性頸部内頸動脈狭窄に対する治療方針は、ここ数年で様変わりしようとしています。脳外科医は ACAS あるいは ACST のデータを基に、高度狭窄に対する内膜剥離術の優位性を主張しています。また、脳血管内治療医は CREST のデータを基にステント留置術の内膜剥離術に対する同等性を主張しています。しかし、内科治療の進んだ昨今、ACAS あるいは ACST のデータは疑問視され、ステント留置術は内科治療と直接比較されていません。そこで、内科治療、内膜剥離術、ステント留置術の専門家に改めて各自の立場でご講演をいただき議論する場を設けました。

座長：岡田 靖（国立病院機構九州医療センター）

加藤 庸子（藤田保健衛生大学 坂文種報徳會病院 脳神経外科）

S3-1 無症候性頸部内頸動脈狭窄に対する内科治療

杏林大学医学部 脳卒中医学 平野 照之

S3-2 無症候性頸部内頸動脈狭窄に対する内膜剥離術

仙台医療センター 脳神経外科 井上 敬

S3-3 無症候性頸部内頸動脈狭窄に対するステント留置術

国立循環器病研究センター 脳卒中集中治療科 山上 宏

共催：日本メドトロニック株式会社

15:35~16:35 教育セミナー 1

座長：斎藤 勇（一般財団法人 富士脳障害研究所附属病院）

ES1 内科医に見ていただきたい未破裂脳動脈瘤に対する keyhole clipping 術の長期手術成績

防衛医科大学校 脳神経外科 森 健太郎

共催：ミズホ株式会社

16:35~17:55 シンポジウム 4：未破裂脳動脈瘤か非破裂脳動脈瘤か

本学会の最大のテーマは未破裂脳動脈瘤です。毎年、このテーマでシンポジウムが開催されています。第26回大会では会長の岡田靖先生自ら「非破裂脳動脈瘤」の提案をされています。来年の第27回学術集会でも継続して本テーマを取り上げることといたしました。

座長：松本 昌泰（地方独立行政法人堺市立病院機構 堺市立総合医療センター）
木内 博之（山梨大学医学部 脳神経外科）

- S4-1 未破裂脳動脈瘤：明らかな事実と解決すべきこと。
日本医科大学 脳神経外科 森田 明夫
- S4-2 脳血管内科医が経過観察する非破裂脳動脈瘤患者の現状
国立病院機構 九州医療センター 脳血管・神経内科 岡田 靖
- S4-3 ビッグデータからわかる未破裂脳動脈瘤の病態
広島大学大学院医歯薬保健学研究科 脳神経外科学 井川 房夫
- S4-4 Computational fluid dynamics を用いた脳動脈瘤の血流解析
広南病院 神経麻酔科 杉山慎一郎
- S4-5 未破裂脳動脈瘤に対する薬物治療の可能性
徳島大学 脳神経外科 多田 恵曜
- 共催：ビー・ブラウン・エースクラップ株式会社

17:55~18:55 教育セミナー 2

座長：佐々木富男（医療法人偕行会 名古屋共立病院）

- ES2-1 脳ドック検査集中講座：脳ドックにおける MRI 撮像法と読影法
岩手医科大学 医歯薬総合研究所 佐々木真理
- ES2-2 脳ドックにおける認知機能検査と解釈法
島根大学医学部 内科学講座 内科学第三 山口 修平
- 共催：エーザイ株式会社

プログラム 1日目 6月29日(金) B会場(8F 会議室803)

8:40~9:40 一般演題1:未破裂動脈瘤手術

座長:井川 房夫(島根県立中央病院 脳神経外科学)

- 01-1 術中解剖学的モニタリングとしての脳動脈瘤治療における HybridOR の有用性
広島市立広島市民病院 救命救急センター 西野 繁樹
- 01-2 合併症から判断する未破裂動脈瘤クリッピング術
藤田保健衛生大学 坂文種報徳会病院 脳神経外科 山田 康博
- 01-3 未破裂脳動脈瘤開頭手術の安全性向上の対策と留意点
秋田大学医学部 脳神経外科 清水 宏明
- 01-4 脳ドックで発見された未破裂脳動脈瘤に対する keyhole clipping の有用性:連続 60 例の検討
防衛医科大学校 脳神経外科 竹内 誠
- 01-5 未破裂動脈瘤クリッピング術における key hole surgery
社会医療法人孝仁会 釧路孝仁会記念病院 脳神経外科 入江 伸介
- 01-6 未破裂脳動脈瘤直達術前後の認知機能について
済生会熊本病院 リハビリテーション部 後藤啓士郎
- 01-7 未破裂脳動脈瘤術後の認知機能低下例の臨床的検討
済生会熊本病院 脳卒中センター 脳神経外科 山城 重雄

9:50~10:35 一般演題2:画像診断の精度・工夫1

座長:大宅 宗一(埼玉医科大学 総合医療センター 脳神経外科)

- 02-1 ファントムを用いた低磁場 MRI の幾何歪み・信号むらの解析と補正法の開発
岩手医科大学 医歯薬総合研究所 超高磁場 MRI 診断・病態研究部門 山下 典生
- 02-2 脳萎縮と特発性正常圧水頭症予備軍の鑑別のための MRI 定量的画像指標
大阪医科大学 脳神経外科 梶本 宜永
- 02-3 3D 医用画像処理ワークステーションを用いた 3D-DWI と 2D-DWI の体積の比較検討
峰和会 鈴鹿回生病院 放射線科 山口 智也
- 02-4 脳ドック受診者における脳体積率に影響する男女別因子の検討
杏林大学医学部付属病院 脳卒中科 本田 有子
- 02-5 椎骨動脈病変における BPAS 撮像の工夫
山形市立病院済生館 脳卒中センター 水戸部祐太

10:35~11:20 一般演題3：画像診断の精度・工夫2

座長：佐々木真理（岩手医科大学 医歯薬総合研究所）

- O3-1 脳ドックにおける3T 3DMRA導入による動脈瘤の診断精度の向上
筑波大学水戸地域医療教育センター 水戸協同病院 脳神経外科 益子 良太
- O3-2 脳ドック MR angiography の読影における脳卒中専門医・非専門医の未破裂脳動脈瘤発見率の比較
AOI 国際病院 脳神経外科/昭和大学医学部 脳神経外科 今泉 陽一
- O3-3 脳 MRA 撮影、画像処理にかかわる画像診断時の注意点について
—診断ミスにつながる可能性のある事例の呈示—
中日病院 健診センター 大野 正弘
- O3-4 遠隔脳ドック画像診断と AI による脳動脈瘤診断の試み
広島大学大学院医歯薬保健学研究科 脳神経外科学 井川 房夫
- O3-5 大脳白質病変自動定量化クラウドシステムの精度検証
岩手医科大学 医歯薬総合研究所 超高磁場 MRI 診断・病態研究部門 山下 典生

12:40~13:40 ランチョンセミナー2

【脳神経外科領域講習対象】

座長：吉峰 俊樹（大阪大学国際医工情報センター）

- LS2 認知症とてんかん～見過ごされやすい高齢者てんかん～
防衛医科大学校 精神科学講座 吉野 相英
共催：大塚製薬株式会社

14:50~15:40 一般演題4：白質病変と小血管病変

座長：佐々木一裕（盛岡市立病院 神経内科）

- O4-1 白質病変自動定量化手法を用いた大規模横断研究から見えてきた肥満と無症候性大脳白質病変との関係
高知工科大学 地域交通医学・社会脳研究室/医療法人健会 高知検診クリニック脳ドックセンター 朴 啓彰
- O4-2 高血圧とライフスタイル関連因子の相乗効果と small vessel disease の関連：
the Kashima scan study
佐賀大学医学部 内科学講座 神経内科 薬師寺祐介
- O4-3 白質病変における MRI 上の重症度に関わる危険因子
東邦大学医学部 医学科 脳神経外科学講座(大森) 根本 匡章
- O4-4 軽度認知障害において脳小血管病が認知機能に与える影響
東京女子医科大学 神経内科 関 美沙
- O4-5 MRI 構造画像への深層学習適用による認知障害の識別と予後予測
島根大学医学部 神経内科 小野田慶一
- O4-6 脳小血管病変と誘発電位の関連について
東京女子医科大学 神経内科 久保田 愛

16:40~17:45 一般演題 5：脳ドックからの知見と課題

座長：藤原 悟（一般財団法人広南会 広南病院）

- 05-1 脳ドック受診者における 食塩摂取量とドック所見との検討
藤井脳神経外科病院 脳神経外科 鈴木 博子
- 05-2 『モービル MRI による脳の検診』受診者と当院『脳ドック』受診者における受診時血圧の検討
社会医療法人医仁会 中村記念病院 脳神経外科 上山 憲司
- 05-3 心房細動を有する脳ドック受検者の予後および MRI 画像の検討
島根大学医学部 神経内科 三瀧 真悟
- 05-4 当院の脳ドックにおける異常所見とその対策
西能みなみ病院 脳神経外科 原田 淳
- 05-5 脳ドックの高齢受診者に安全な MRI 検査を行うために－ MRI 中止・中断例についての検討－
特定医療法人財団五省会 西能みなみ病院 検査センター 画像診断 澤田 真之
- 05-6 心理士による脳ドック後の介入体制確立
社会医療法人北斗 北斗病院 言語聴覚科 山田 啓太
- 05-7 SUBARU 健康保険組合 太田記念病院 脳ドックの現状と課題
SUBARU 健康保険組合 太田記念病院 脳神経外科 齋藤 太
- 05-8 健診センターにおける職業運転士の脳ドックについて
広島県集検診協会 メディックス広島 脳ドッククリニック 三原 千恵

17:45~18:45 一般演題 6：睡眠時無呼吸・脳内出血・脳腫瘍

座長：久保 慶高（岩手医科大学 脳神経外科）

- 06-1 抗血小板剤投与中での脳出血症例の予後検討
杏林大学医学部 脳神経外科 鳥居 正剛
- 06-2 Cnm 関連脳出血の臨床的特徴
国立循環器病研究センター 脳神経内科 石山 浩之
- 06-3 神経膠腫が疑われる無症候性 FLAIR 高信号病変の治療方針
山形大学医学部 脳神経外科 菊地 善彰
- 06-4 Incidental に発見され治療行った脳腫瘍の検討
秋田大学大学院医学系研究科 脳神経外科 高橋 和孝
- 06-5 脳ドック受診者における睡眠呼吸障害と無症候性脳血管障害との関連についての検討
獨協医科大学埼玉医療センター 赤岩 靖久
- 06-6 頸部 T2 sagittal 画像の危険因子と full PSG による睡眠時無呼吸リスク (AHI) の関連
市立大町総合病院 脳神経外科 青木 俊樹
- 06-7 睡眠時無呼吸症候群における脳白質変化－脳ドック検診の意義について－
広島大学大学院医歯薬保健学研究科 脳神経外科学 井川 房夫